

令和6年度 療養棟2階（地震・火災）避難訓練

【地震・火災避難訓練】

- 1 実施日時：令和6年12月12日（木）14時05分より
- 2 震源地：東大村付近を震源とする地震を想定
- 3 出火想定場所：2階食堂テレビより出火

消防署の指導のもと、緊急地震速報発令時の対応要領、並びに19時頃2階療養棟食堂のテレビより出火したという想定で自衛消防隊の避難訓練を行いました。

火災発生・受信盤確認・初期消火・利用者41名の避難誘導を12分37秒で完了することができました。

施設長より「緊迫感があって、声が出て『きびきび』しており、一生懸命さが伝わってくる訓練でした。これからは複合的な災害に対応してゆかなければいけません」と講評を頂きました。

また、消防署員より「情報の共有がしっかり出来ていて、本当の火災と思って行動していたところが良かった。地震発生後の想定ということで、棚などが倒れているような物が散乱している中での避難誘導はスムーズに行かないことが想定されます」

「1人逃げ遅れたことに気付いたことはとても素晴らしい。そして、すごい声を出して救出したことに熱いものを感じました」などの評価を受けました。

あわせて「安全を重視して行うこと。自分たちの身を守る行動も必要です。身を守らないと入所者の命も守ることが出来ません」などの指導を頂きました。

事前に知っておくこと、準備をしておくことで冷静に対応することができます。複合的な災害に対して、被害を最小限にできるように職員ひとり一人の意識を高めるよう訓練を行っていきたいと思います。

*写真の掲載については了承を得ています。



緊急地震速報発令時 頭部を守る様子



消火器による初期消火



避難誘導



避難誘導